

大人が絵本を

第88回 絵本の日アワード in



司書・読書アドバイザー 安藤 宣子*

小児歯科医師 濱野 良彦**

※ 絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ(福岡市)
** 医療法人元気が湧く 理事/ファウンダー

BIB2021 祝！ 金牌

【速報BIB】2021年受賞者が発表されました。しおたにまみこさん『たまごのはなし』が金牌を受賞！¹⁾

新型コロナ第5波が和らいできた10月15日、日本国際児童図書評議会(JBBY)より吉報が届いたのです。

『たまごのはなし』
しおたにまみこ 作・絵
(プロンズ新社)



新型コロナウイルスによって生活が一変し、大切な命を奪われ、健康を害された私たちに笑顔にさせてくれる報告でした。このシュールな表紙にかかる期待を、お話は裏切りません。繊細な鉛筆画のたまごの哲学は、私たちの心を和やかにし、健全な思考を促してくれるのです。

11月30日は、絵本の日♪

日本の絵本が世界的な評価を受けた翌月末、11月30日は絵本の日でした。皆さまの歯科医院では、毎年11月30日には、いつもにも増して「絵本」を医療に活用する取り組みをされていますでしょうか。

1985年11月30日に、日本で戦後「絵本」に関する基本的な考え方を示した『絵本論-子どもの本評論集』が発行された日にちなんで、医療法人元気が湧く 絵本と図鑑の親子ライブラリー(ビブリオキッズ)が制定、日本記念日協会によって2012年10月に認定された、絵本の記念日です。すなわち、本年は、絵本の日10周年に当たる節目の年なのです。

『絵本論』の著者は瀬田貞二氏で、『ナルニア国物語』

や『ロード・オブ・ザ・リング』の翻訳家としてお馴染みです。絵本が教育的・文化的及び社会的に多様な役割を持つ素材であると認識されるように、絵本の世界が「個と文化へ広がりを見せることに期待」して制定した記念日なのです。制定から10年、確実に個と文化へ広がっていることを実感しています。

絵本の世界が、個と文化へ広がるとき

そのように言い切れるのは、「絵本の日」の活動の一環として創設した「絵本の日アワード in FUKUOKA エピソード部門」が昨年、第5回を迎えたことにも大きく関与しています。

毎年、応募される全作品を、司書は拝読しています。創設1~2年は、読書感想文が多くみられていたのですが、今では喜怒哀楽それぞれのエピソードが寄せられるようになりました。2021年に寄せられた応募作品450点を読んでいると、「絵本が個と文化へ広がっている」と何度も何度も感じました。

たくさん寄せられるエピソードには、多種多様な「絵本のチカラ」が宿っており、それが新たなメッセージを発信しているのです。そんなメッセージを受け止めると、育児でお悩み中の「あのお母さまには、この作品を読んでもらいたいな」とか、「このエピソードは、あちらのお母さまのチカラになる」など、個と個をつなぐ使命が自ずと湧き上がってくるのです。

しかしながら、贈賞作品数は限られています。厳選に厳選を重ねた審査の結果、胸を裂かれる思いで入選に至らなかった良作も、上げるときりがありません。

この厳しい審査を通過して2021年、グランプリに輝いた作品は、正に「個と文化へ広がりを見せた」秀逸作です。ごゆっくりとご覧ください。

手にするときは！

FUKUOKA 2021 グランプリ

企画 濱野 良彦

構成 木須 信生 ※※※

※※※ 絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ(福岡市)

第5回 絵本のエピソード・グランプリ！

絵本の日アワード in FUKUOKA 2021

グランプリ 梶原 典明さま (東京都)

絵本『みえるとか みえないとか』

十二年前、産まれたばかりの息子を見た時、看護師さんの言葉に私は耳を疑った。「右耳がないんです」。

小耳症という何万人に一人の確率で発症する病気で、治療法は確立されているが、塞がれた右穴部分に穴を開けても聞こえるようになる確率は限りなく低いと言われた。妻と一緒に泣いた。なぜ。なぜ我が子がこんな目に。

左耳が聞こえてくれたのは幸いだったが、見た目でいじめられないか、不安は日に日に膨らみ、妻と二人、全国の病院に行っては、救いの言葉をかけてくれる医師を探し回った。三重県の国立病院の女医さんと出会った時、一冊の絵本を薦められた。

それがヨシタケシンスケさんの『みえるとか みえないとか』という絵本だった。内容は、宇宙飛行士の僕がいろんな星を調査。目が三つあったり、一つ目だったりなど様々なタイプの宇宙人が登場する。それぞれ楽しく暮らす宇宙人たちにとって、目が二つあって当たり前という概念はなく、目が見えないのも個性で、目が見えないからこそ、楽しめる世界もあるということを教えてくれる内容だった。

後日、その女医さんから手紙が届いた。「お父さん、お母さん、自分を責めないでください。大丈夫、息子さんは息子さんでしっかり成長してい



picture book's day award 2021

『みえるとか
みえないとか』
ヨシタケシンスケ 作
伊藤亜沙 相談
(アリス館)



ますから。息子さんと対話して生きる方が大切ですよ」と綴られていた。涙ながらに手紙を読んだ私たちは、考え方を変えた。「物事は捉え方次第。自分たちの物差しで、それは障害だ。それは不幸だと決めつけないこと」を決意し、息子に絵本を渡した。

去年の春、小学六年生になった息子が、「医者になりたい。中学受験したい」と言い出した。それから息子は猛勉強。今年三月に合格を果たし、今では、毎朝、教科書でパンパンに膨らんだカバンを持って、近くのバス停まで歩いていく。そのカバンには、あの絵本が入っていることを私も妻も知っている。

頑張れ、私たちの息子よ！

絵本との出会いが人々へ与えるチカラ

絵本は子どもたちに、想像力、感性、言語力といったたくさんのチカラを与えてくれます。同じように、絵本は大人たちに、想像力、感性、言語力など、生きるうえで必要なチカラをたくさん与えてくれるのです。

絵本『みえるとか みえないとか』は、医師の介在によって梶原さまご夫妻の想像力を大きく広げました。ご夫妻の感性を揺さぶりました。梶原さまご家族の未来を照らしました。一冊の絵本が家族のチカラとなり、個と文化へ広がったのです。



そして、十数年後には医療文化へと立ち返り、もっともっと広がっていることでしょう。『みえるとか みえないとか』は大人と子どものバイブルになっているかもしれません。

絵本作家・ヨシタケシンスケ

梶原さまご家族に、みえない大きなチカラを発揮した『みえるとか みえないとか』の作者ヨシタケシンスケ氏は、その名前を知らない人はいないくらい今、大人気の絵本作家です。しかし、その名が世に出てから10年足らずなのです。デビューから10年弱の間で、たちまちに人々をグッと引き付け、注目すべき作家となりました。

デビュー作は、2013年初版発行の『りんごかもしれない』です。それまでの絵本の常識にとらわれない発想と構成が現代人に見事にハマリ、読む者はストーリーに引き込まれ、無限の想像をかき立てられるとともに、あふれるユーモアに心が解き放たれるのです。

『りんごかもしれない』
ヨシタケシンスケ 作
(ブロンズ新社)



デビュー作が、その年2013年の第6回MOE絵本屋さん大賞で1位になって以降、毎年、同賞の上位に選出されている、文字通り新進気鋭の作家というわけです。2018年の第11回では、『みえるとか みえないとか』が2位になりますが、1位も作者の『おしっこちょっぴりもれたろう』(PHP研究所)です。2021年(第14回)には『あんなにあんなに』(ポプラ社)が1位を受賞して、同賞7冠に輝き、その実力を証明しています。

とりわけ、ヨシタケシンスケ作品は、対象年齢を選ばないことが人気爆発の最たる要因ではないかと思えます。子どもだけに好まれるものでも、大人を

中心に支持されるものでも、どちらにも偏っていないところもヒットの理由のようです。

ビブリオキッズでは、5歳の女の子とそのママが肩を寄せあって笑ったり、小3の男児とお母さまが声を合わせて読みあっているうちに笑い声に変わったりと、哲学的要素に合わせて、幸福の分かち合いをも持ち合わせた絵本だと、主観ながら分析しています。

新しい価値観を生む

『みえるとか みえないとか』は、他のヨシタケシンスケ作絵本のように、ヨシタケ氏の発想だけで生まれたものではないことでも話題を呼んでいます。本作の著述区分には、「作者」と「相談」の表示があるとおり、ヨシタケ氏が、障がいがある人の身体感覚を研究する伊藤亜紗氏に相談しながら完成させているのです。

出版のきっかけは、発行元であるアリス館から、伊藤亜紗氏の新書『目の見えない人は世界をどう見ているのか』(光文社)を絵本にしたいと連絡があったことだと、本作の発売記念対談の冒頭でヨシタケ氏が語っています。しかし、実際に描き始めると、白杖を持って歩いている人の絵だけで「かわいそう」に見えてしまい、それが何も言わせてくれないことに気付いたヨシタケ氏の発想が、宇宙人なのです²⁾。すべてのヨシタケシンスケ作品の根源は、この発想によるものです。

伊藤亜紗氏の著述区分は、一般的には「監修者」でしょうけれど、常識にとらわれないヨシタケ氏のこと、子どもたちにも理解できる「相談」との表記を使っています。共作者である「ふたりの立ち位置そのものがめずらしいものになっているのですが、それがまた、ひとつの価値になってくれればと思います」²⁾とヨシタケ氏が絵本の隅々に織りなした願いを知ると、何度も読みたくなるし、多くの人に薦めたいくなるのです。

新書を絵本に変換する

『みえるとか みえないとか』のお話は、主人公「ぼく」が宇宙人からすると前方しか見えない不便でかわいそうな存在で、宇宙人との出会いによって「ぼく」が、「自分と同じ人」と「自分と異なる人」へ思いを巡らせ、「普通とは何か」を探究していく内容です。

『目の見えない人は世界をどう見ているのか』で伊藤氏は、ある全盲の方に「そっちの見える世界の話も面白いねえ!」と言われた経験を紹介し、「そっち」という言葉に込められた、「うちはうち、よそはよそ」みたいな感覚に、なるほどと思ったと明かしています³⁾。



『目の見えない人は世界を
どう見ているのか』
(光文社新書)
伊藤亜紗 著(光文社)

その新書を読んだヨシタケ氏は、「一番大事な『おもしろがる』ということを絵本で伝えたい、伝えなくてはいけないと思った」と伊藤氏との対談で述べているのです²⁾。つまり、「新書」に記された言葉と一部のイメージ図からなる解説書の中より重要点を抽出し、絵本という32ページの物語世界に変換したわけです。

現代を生きるコツ=想像力の豊かさ

「同じところをさがしながら、違うところをおたがいにおもしろがればいいんだね⁴⁾」とは、絵本のラストの言葉です。ヨシタケ氏が「おたがいに」をキーワードとし、「子どもが読むときに、『おたがいに』がないと、考えなくてはいけない要素が変わってくる」と伊藤氏に気付きを与えられ、違いを面白がるを大前提として、「おたがいに」面白がるのが大事だと言っているのです²⁾。

『『相手を思いやる』ではなく、単純に、『あ、そっ

ちはそうになっているんだー。おもしろーい!』というノリの部分を伝えること」が大事としながらも、「子どもにとっての面白がるということが、馬鹿にしたり茶化したりというグレーゾーンのこともある」と思慮したヨシタケ氏のひと工夫です²⁾。自分と違うものが存在することを認めて、お互いに面白がって、受け入れるために必要なのは想像力なのです。



大人とか子どもとか、男とか女とか

絵本の日アワード2021授賞式の模様は、昨年11月30日にYouTubeにアップしましたので、どなたでも視聴することができます。

グランプリに輝いた『みえるとか みえないとか』は、「他者との違い」を考えるきっかけとなる題材で、その通り、梶原さまご家族の気付きのきっかけとなり、発想の転換となって、ご家族に幸福をもたらしました。絵本の大きなチカラが作用していることがわかります。

絵本のタイトルは、「見えるとか見えないとか、聞こえるとか聞こえないとか、大人とか子どもとか、男とか女とか…という全部をひっくるめて」命名されています²⁾。ダイバーシティが叫ばれる現代において、企業研修でも活用できる一冊です。想像を深めることで、立場や視点の違いに気付くことができるのです。皆さまの歯科医院での研修にいかがでしょうか。

絵本には、想像力という真実があるのです。



文献

- 1) 日本国際児童図書評議会：【速報BIB】2021年受賞者が発表されました, JBBY HP <https://jbbj.org/category/news/press2021/10/15>
- 2) 伊藤亜紗, ヨシタケシンスケ: 『みえるとかみえないとか』発売記念対談, アリス館HP <http://www.alicekan.com/2018/07/10>
- 3) 伊藤亜紗: 目の見えない人は世界をどう見ているのか(光文社新書), 光文社, 東京, p.39-43, 2015.
- 4) ヨシタケシンスケ作, 伊藤亜紗 相談: みえるとかみえないとか, アリス館, 東京, 2018.